温泉の成分、禁忌症、適応症

成分

1 温泉利用施設名称
稲取 銀水荘

2 源泉番号
銀水荘2号源泉（稲取6号）

3 湧出地又は採水地
賀茂郡東伊豆町稲取字池尻 1617-5

4 泉質
ナトリウム・カルシウム－塩化物温泉（低張性・弱アルカリ性・高温泉）

5 泉温
源泉温度 85.0℃

6 温泉の成分 （pH 8.2） mg／kg

陽イオン	リチウムイオン（Li^{+}）	0.7
	ナトリウムイオン（Na^{+}）	1743
	カリウムイオン（K^{+}）	124.3
	アンモニウムイオン（NH_4^{+}）	1.3
	マグネシウムイオン（Mg^{2+}）	15.9
	カルシウムイオン（Ca^{2+}）	819.7
	ストロンチウムイオン（Sr^{2+}）	5.3
	バリウムイオン（Ba^{2+}）	0.1
	マンガンイオン（Mn^{2+}）	0.7
陰イオン	ふっ化物イオン（F^{-}）	1.5
	塩化物イオン（Cl^{-}）	3635
	臭化物イオン（Br^{-}）	9.9
	硫酸イオン（SO_4^{2-}）	674.0
	りん酸水素イオン（HPO_4^{2-}）	0.4
	炭酸水素イオン（HCO_3^{-}）	47.1
	炭酸イオン（CO_3^{2-}）	5.4
非解離成分	メタ亜ひ酸（$HAsO_2$）	0.2
	メタけい酸（H_2SiO_3）	113.4
	メタほう酸（HBO_2）	8.4
溶存ガス成分	遊離二酸化炭素（CO_2）	7.0
その他微量成分	カドミウムイオン（Cd^{2+}）	<0.001
	鉛イオン（Pb^{2+}）	<0.005
	銅イオン（Cu^{2+}）	<0.1
	総水銀（Hg）	<0.0005
成分総計		7.214 g／kg

禁忌症、適応症

1 禁忌症（浴用）
病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

2 適応症（浴用）
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進
きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

3 温泉浴用上の一般的注意事項
・食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
・過度の疲労時には身体を休めること。運動後30分程度の間は身体を休めること。
・高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
・浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度を慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
・入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
・高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
・心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
・入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
・入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。
・運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
・浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
・めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
・身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫黄泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。）。
・入浴後、脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
・温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
・浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

4 浴槽の利用状況（加水、加温、再利用、ろ過、添加物質、消毒）の理由等
（都度入換え浴槽 温泉と水道水の蛇口があり、お客様が汲み入れるための加水の有無は不明。）

1）加水の有無	有（温度調整の為）
2）加温の有無	無
3）再利用(循環)の有無	有（温度量節約の為）
4）ろ過の有無	有（衛生管理の為）
5）添加物質の有無	無
6）消毒の有無	有（衛生管理の為、塩素系薬剤を使用）

温泉の分析終了年月日 令和 元 年 9 月 24 日
分析機関名 静岡県静岡市葵清水区小芝町4番13号
株式会社 サイエンス （静岡県第5号）

温泉利用許可番号及び許可年月日（浴用）
下保環第5－304－2号 平成 2 年 3 月 6 日

掲示表作成者 静岡県温泉協会賀茂支部
支部長 定居 康夫